

KOBE AWAY PRESS (仮)

For the Vissel Kobe fans of the Kanto living

Free!!

#24

トモニ戦う号

2013.5.12 Kick Off

私達にはアウェイ戦のゴール裏をクリムゾンレッドで埋め尽くすという夢があります。一人でも多くのヴィッセル神戸サポーターにアウェイ観戦の楽しさを届けたい。KOBE AWAY PRESS (仮)はこうした思いから生まれた情報紙です。KOBE AWAY PRESS (仮)は関東サポーター有志により自主的に制作されています。



Return to J1!

これまでのリーグ戦の対戦成績は神戸の8勝11敗5分。一番最近の対戦は、2008年11月9日の味スタ。この試合まで4連勝していたヴィッセル神戸は絶好調。一方、ヴェルディはJ2降格の危機に瀕していた。前半から圧倒していた神戸は63分に吉田孝行、71分に鈴木規郎のゴールで快勝した。この結果、チーム記録となる5連勝を達成。松田監督のサッカーの完成形が示された試合だった。

ところで、ヴェルディといえは、華麗なショートパスの攻撃的なサッカー。守備は伝統的に4バックだが、新監督



三浦泰年を迎えた今年のチームは違う。ディフェンスは3バック、そしてウイングバックが起点となるサイド攻撃主体とする。また、守備は堅く、リーグ最少失点である。(5/2時点)

今日の試合の鍵を握るのは両サイドの攻防となる。神戸のサイドバックがヴェルディの両ウイングバックの裏のスペースを上手く使えば、ヴェルディを押しこむことが可能になるだろう。

さあ、ピッチの戦士に魂を送ろう、日本サッカーの聖地、国立競技場で勝利の歌を高らかに歌おう

神戸讃歌

俺達のこの街に お前が生まれたあの日
どんなことがあっても 忘れはしない

共に傷つき 共に立ち上がり
これからもずっと 歩んでゆこう

美しき港町 俺達は守りたい
命ある限り 神戸を愛したい
オオオオオ オオオオオ...



KOBE AWAY MARCH

♪どこまでも行こうぜ 勝利を信じて
熱き友の想い 胸に宿して
行こう 勝利へ
トモニ戦え ラーララ ララララ!
歌声響かせろ(KOBE!)
遠く神戸まで(KOBE!)
さぁみんなで帰ろう 神戸に帰ろう
勝利この手に! ♪



アウェイ専用チャント登場!! 2013年シーズンは、アウェイ専用のチャントが投入されました。アウェイ戦でしか唄われない貴重(?)なチャント皆さんはもう覚えられましたか?メロディは、よくご存知の曲なので、一度聞けば分かるはず! みんなで唄って選手に届けましょう!!

2013年度日程

節	対戦相手	日時	会場	勝敗・得点	節	対戦相手	日時	会場	勝敗・得点
1	徳島ヴォルティス	3月 3日(日) 13:00	(A)ポカスタ	○ 1-0	14	東京ヴェルディ	5月12日(日) 15:00	(A)国立競	○ -
2	FC岐阜	3月10日(日) 16:00	(H)ノエスタ	○ 4-0	15	愛媛FC	5月19日(日) 13:00	(A)ニスタ	○ -
3	コンサドーレ札幌	3月17日(日) 16:00	(H)ノエスタ	○ 1-0	16	ガイナレ鳥取	5月26日(日) 16:00	(H)ノエスタ	○ -
4	京都サンガFC	3月20日(水) 13:00	(A)西京極	● 1-4	17	水戸ホーリーホック	6月 1日(土) 13:00	(A)Ksスタ	○ -
5	ザスパクサツ群馬	3月24日(日) 16:00	(H)ノエスタ	○ 4-1	18	ジェフユナイテッド千葉	6月 8日(土) 17:00	(H)ノエスタ	○ -
6	松本山雅FC	3月31日(日) 13:00	(A)アルウィン	○ 1-0	19	栃木SC	6月15日(土) 18:00	(A)栃木グ	○ -
7	モンテディオ山形	4月 7日(日) 16:00	(H)ノエスタ	○ 1-0	20	V・ファーレン長崎	6月22日(土) 18:00	(H)ノエスタ	○ -
8	カターレ富山	4月14日(日) 16:00	(A)富山陸	△ 0-0	21	ロアッソ熊本	6月29日(土) 19:00	(A)うまた	○ -
9	ギラヴァンツ北九州	4月17日(水) 19:00	(H)ノエスタ	○ 2-1	22	ファジアーノ岡山	7月 3日(水) 19:00	(A)カンスタ	○ -
10	横浜FC	4月21日(日) 16:00	(A)ニッパ球	○ 2-1	23	愛媛FC	7月 7日(日) 18:00	(H)ノエスタ	○ -
11	ファジアーノ岡山	4月28日(日) 16:00	(H)ノエスタ	△ 3-3	24	カターレ富山	7月14日(日) 18:00	(H)ノエスタ	○ -
12	アビスパ福岡	5月 3日(金) 13:00	(A)レバスタ	△ 0-0	25	ガンバ大阪	7月20日(土) 18:00	(A)万博	○ -
13	ガンバ大阪	5月 6日(月) 16:00	(H)ノエスタ	○ -	26	横浜FC	7月27日(土) 18:00	(H)ノエスタ	○ -

※印刷工程にかかる日数の関係で勝敗・得点の記載をしていない日程があります。あなたの手で日程表を完成させてください!

「深紅の中の緑の系譜」

いまから10年前、2003年シーズンのヴィッセルには実に8人ものヴェルディ出身者がいた。三浦カズ、ヤス、土屋、ピスマルク、佐伯、菅原、藪田、山口貴。口の悪い人にはヴェルディ2軍とも呼ばれていた時代の話である。土屋、佐伯、菅原の3人は、他クラブを経てヴェルディに戻ったが、菅原と佐伯は昨年までに引退、土屋はJ1甲府へ移籍をしてしまい、残念ながらJ2での再会とはならなかった。

2005年のJ2降格以来、ヴィッセルは育成路線を打ち出したためヴェルディ出身者の加入は途絶えたが、三浦アツ、栗原というチームの精神的な軸を担う選手はヴェルディ出身者だった。そして、現在ヴェルディ出身者は相馬崇人ただ一人。現ヴィッセル神戸の精神的支柱の代表者である。しかし、怪我で出場できない。今試合に懸ける気持ちは人一倍強かっただろう。緑のユニフォームを相手に左サイドを切り裂く相馬の勇姿を見られないのはとても残念だ。



山本海人という男 22

彼の加入は衝撃的だった。ジュニアユースからトップチームまで、ずっと清水で過ごしてきた才能豊かな選手がJ2降格となったチームに完全移籍で加入してきたのだ。しかも神戸には徳重健太・植草祐樹といった経験豊富なGKが2人もいる。そんな厳しい状況の中にあえて飛び込んできた理由は1つ。「自身の成長のため」だ。神戸は昨年度と比べて大きく陣容が変わった。社長を含めたスタッフも交代し、主力選手の3分の1が入れ替わった。当然、この序盤はチームとしての成熟度がまだまだ満足のものではない。上手くいかない試合もこれからたくさん出てくるだろうし、既に何試合かはそんな試合だった。でもそんな状況でも1敗しかしておらず、首位をキープできているのは新守護神の活躍があってこそだ。

「早く神戸の人に認めてもらえるように頑張ります」

インタビューの時に、彼はいつもこの言葉を口にする。大丈夫、僕たちサポーターはもう山本海人という選手に虜になっている。海人、これからも神戸とトモニ成長していこう！

ヴィッセルと国立

国立霞ヶ丘陸上競技場。天皇杯決勝、全国高校サッカー選手権大会、そして日本代表の試合などサッカーファンにとって、正に国立は「聖地」です。ヴィッセルは、過去に7度、この国立で試合を行っていますが、成績は1勝4敗2分と残念ながら負け越しています。ただし、09年に高円宮杯全日本ユース(U-15)決勝で、札幌を2-1で下し、初優勝をここ国立で飾りました。この国立は、14年7月から解体され19年3月に開閉式の屋根を備えた全天候型スタジアムに生まれ変わる予定です。もしかすると今日がヴィッセルにとって改修前最後の国立になるかも知れません。もし、時間が許すのなら、歴史に刻まれた国立を探検してみてください。

対戦年月日	対戦クラブ	結果
2000.05.20	FC東京	2-1
2002.10.19	FC東京	2-3
2004.06.05	FC東京	1-2
2004.09.23	横浜F・マリノス	2-2
2005.07.23	FC東京	1-1
2006.09.30	東京ヴェルディ	2-5
2007.09.01	FC東京	1-3

▽ トップチーム

1 GK 植草 裕樹	22 GK 山本 海人	28 GK 紀氏 隆秀	30 GK 徳重 健太	3 DF 相馬 崇人
4 DF 北本 久仁衛	5 DF 河本 裕之	19 DF 岩波 拓也	21 DF 茂木 弘人	23 DF イヴァンソン
25 DF 奥井 諒	29 DF 林 佳祐	34 DF カン ユング	35 DF 金 聖基	6 MF エステバン
10 MF 森岡 亮太	13 MF 小川 慶治朗	15 MF 大屋 翼	18 MF 田中 英雄	20 MF 杉浦 恭平
24 MF 三原 雅俊	26 MF 高柳 一誠	27 MF 橋本 英郎	31 MF 松村 亮	32 MF 前田 凌佑
33 MF 和田 倫季	7 FW ポポ	8 FW マジーニョ	9 FW 都倉 賢	11 FW 田代 有三
16 FW 有田 光希	17 FW 吉田 孝行			

VISSEL KOBE

▽ KOBE AWAY PRESS (仮) からのご協力をお願い

KOBE AWAY PRESS(仮)を他のお友達にすすめたいという方や自分のお店において配ってもいいよという方は大歓迎です。一人でも多くのサポーターを誘ってアウェイゴール裏に駆けつけましょう！

KOBE AWAY PRESS(仮)のPDF版ダウンロード、およびKOBE AWAY PRESS(仮)に関するお問い合わせは、以下のURLにアクセスしてください。



編集後記

本文中にもありましたが、国立競技場での成績は今ひとつよくありません。しかし、チームの中に一人、国立競技場に素晴らしい思い出を持った選手がいます。それは、岩波拓也。中学3年生の時の高松宮杯U-15で優勝し、優勝杯を掲げたのがキャプテンを務めていた岩波です。きっとイメージをもって今日の試合にのぞんでいることでしょう。それにより、今のチームには過去の戦績は関係ありません。岩波をはじめ若い世代とともに、国立での新たな歴史を築いていきましょう。そして、いつの日には元日まで。その前にまずは今年1年でJ2を卒業するのだから、いろんなアウェイの地で祝杯をあげ、それぞれの土地を楽しめたらなと思っています。そのためにはアウェイでのサポーターの力はとても大事だし、僕らもそれに少しでも役に立てばと願っています。(ZEN)

KOBE AWAY PRESS (仮) PDF版ダウンロード
<http://kobeap.net/> 発行:KOBE AWAY PRESS(仮)編集部
 Facebook <http://www.facebook.com/kobeap>
 Twitter @kobeap (<https://twitter.com/kobeap>)



このKOBE AWAY PRESS(仮)を受け取ったら、その場で捨てないでお家まで持ち帰ってね! **Keep clean**